

深 圳 レ ポ ー ト

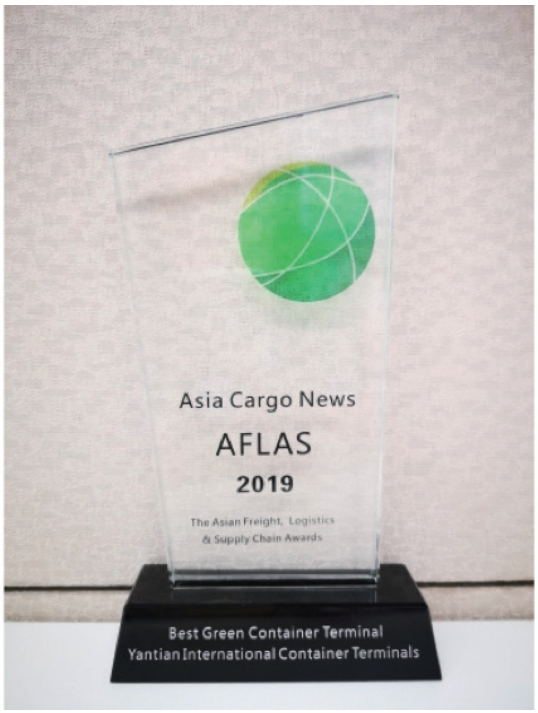
中国貿易の重要な玄関口―中国・華南地域の経済発展に大きく貢献 深セン塩田国際ターミナル、「最優秀グリーンコンテナターミナル賞（Best Green Container Terminal）」に選出

ポイント:

●深セン塩田国際コンテナターミナル、専門メディア「Asia Cargo News」が選ぶアジアで最も優れた「グリーンコンテナターミナル」に選ばれる

●複雑な国際経済情勢に晒されながらも、深セン塩田国際コンテナターミナルは安定した貨物取扱量を維持

●深セン塩田国際コンテナターミナルのクリーンエネルギー機器と優れた運営システム



アジアで最も優れたグリーンコンテナターミナルに選出された「深セン塩田国際コンテナターミナル」

2019年6月17日、深セン市塩田区にある「塩田国際コンテナターミナル（YICT、塩田国際集装箱碼頭）」が専門メディア「Asia Cargo News」が選ぶアジア貨物、物流およびサプライチェーン大賞授賞式（Asian Freight,Logistics and Supply Chain Awards、AFLAS）で「最優秀グリーンコンテナターミナル賞」を受賞した。「YICT」は2018年の「アジア最高コンテナターミナル賞」に続き、今年も栄誉ある賞を受賞したことになる。



「YICT」は2019年6月15日に「深圳越境EC協会」から「2019優秀越境EC物流サービスプロバイダー」賞も授与されている。この賞は、電子商取引（EC）、物流、海外倉庫サービス、ソフトウェアサービス、金融サービスのそれぞれトップ50社を表彰するもので、「YICT」は港湾業界で唯一の受賞者となった。

深圳港（※）と「YICT」の年間貨物取扱量

※「深圳港」とは蛇口、赤湾、母湾、東角頭、塩田、福永空港、沙魚涌、内河の8港を合わせたもの。港水域面積は計106平方キロメートル、陸地面積は計16平方キロメートル

「YICT」は今や“世界で最も忙しいコンテナターミナル”の1港だ。2018年の貨物取扱数は1316万TEU（20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位）を超え、前年比3.6%増となり、最高記録を更新。今年は複雑な国際経済情勢に晒されたが、「YICT」の毎月の貨物取扱数は依然として安定しており、1月から5月にかけての貨物取扱数は4.4%増加した。



年間	YICT（1000単位：標準コンテナ）	深圳港全体（1000単位：標準コンテナ）	全国ランキング（深圳港全体）	世界ランキング（深圳港全体）
1994	13	179	8	
1995	106	284	7	
1996	354	589	4	
1997	638	1,148	2	35
1998	1,038	1,952	2	17
1999	1,588	2,978	2	11
2000	2,148	3,993	2	11
2001	2,752	5,076	2	8
2002	4,182	7,614	2	6
2003	5,258	10,652	2	4
2004	6,260	13,655	2	4
2005	7,581	16,197	2	4
2006	8,865	18,469	2	4
2007	10,016	21,099	2	4
2008	9,683	21,426	2	4
2009	8,579	18,250	2	4
2010	10,134	22,510	2	4
2011	10,264	22,570	2	4
2012	10,667	22,940	2	4
2013	10,796	23,278	2	3
2014	11,673	24,037	2	3
2015	12,166	24,210	2	3
2016	11,696	23,979	2	3
2017	12,704	25,209	2	3
2018	13,160	25,736	3	4

▲年間貨物取扱数

出典:https://www.yict.com.cn/about-throughput/annual-throughput.html?locale=zh_CN

「YICT」のクリーンエネルギー機器と運営システムの分析

「YICT」には20の大型コンテナ船対応バースがあり、20万トン級の船舶5隻が同時に停泊できる。バースの長さは9078メートルで、水深は14～17.6メートル。バースには計85基のガントリークレーンが備え付けられている。その内27基は二重桁ガントリークレーンで、2本の40フィートコンテナ、もしくは4本の20フィートコンテナを同時に扱える。

運航ピーク時には、2隻以上の超大型船が1週間の内に少なくとも3日間は同時接岸している。2万TEUを超える4隻の超大型船の同時接岸にも対応可能で、「YICT」では超大型船の同時接岸が日常的になりつつある。



コンテナターミナルの陸地面積は417ヘクタールあり、同時に4万本の標準コンテナを収容できる。ゲートには87本の入出航路（55本のインバウンド、32本のアウトバウンド）が配置されている。これらの施設・設備は、大型船舶の対応、コンテナの取扱いの作業処理能力を保証している。



「YICT」は世界レベルのコンテナターミナルとして、24時間365日体制でサービスを提供しなければならない。高度なターミナル管理システムと荷積み/荷降ろし設備により、安全かつ効率的なオペレーションを実現している。船舶停泊計画、コンテナ配置、ゲート管理の3つの主要部門の密接なつながりを通して、貨物入出プロセスを最適化させている。

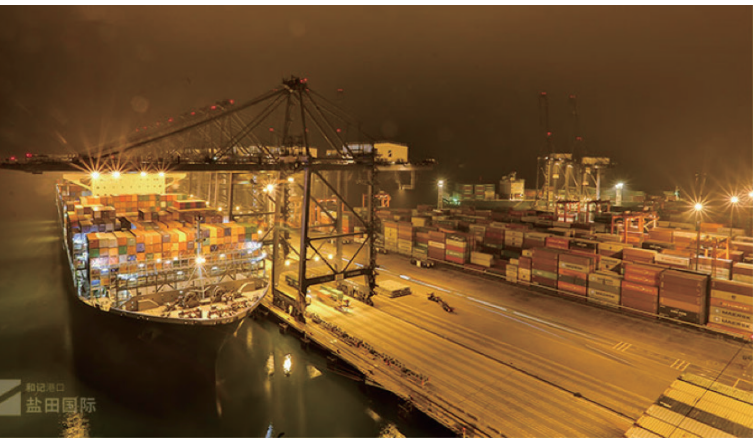
コンテナターミナルの情報システムも全天候型の運行には欠かせない。同情報システムは一年間のダウンタイムが2.5時間以内に抑えられており、1つのシステム障害を25分以内に回復できるという。



また、「YICT」は交通運輸部による「国家交通運輸部岸電気試験プロジェクト」を推し進めている。16の船舶停泊所をカバーする6セットの沿岸船用電源システムを有し、世界最大のコンテナ船の電力需要を満たすことができる。

この沿岸船用電源システムのカバー率は80%に達している。

「YICT」は中国最大の電力供給能力とバースを持ったコンテナターミナルだ。船舶は港湾の沿岸船用電源システムから電力を供給した後、補助エンジンを止めることができ、船舶が停泊している間にすべての電力需要を満たせるため、二酸化炭素排出量を削減することが可能だ。



「YICT」は中国初の「電気ガントリークレーンプロジェクト推進港」であり、中国最多の電気駆動タイヤクレーンを使用する港の1つでもある。現在は241台のガントリークレーンがあり、その内207台が電気で駆動。ディーゼルエンジン駆動から電気エンジン駆動に切り替えたことで、ガントリークレーンのエネルギー効率は大幅に向上し、排気ガスと騒音の排出量も減少した。

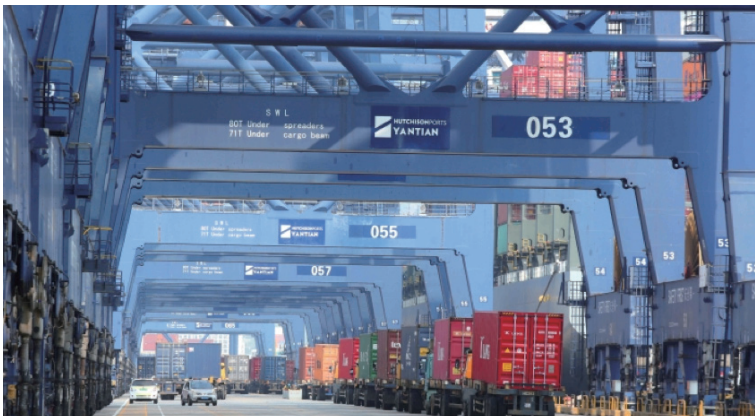
ガントリークレーン	コンテナ	燃料消費量	騒音
1台	1箱	ディーゼル 約2.03L	110デシベル
1台	1箱	ディーゼル 約1.015~1.421L	60デシベル

電気ガントリークレーンは燃料費を80%削減し、排気ガスの排出量を95%削減した。作業中のエンジン騒音は発生せず、ガントリークレーン作業区域の騒音は110デシベルから60デシベルに減少した。残り34台もハイブリッドガントリークレーンであり、燃料消費量は30~50%、排気ガス量も50%減少したという。





「YICT」は2008年6月から液化天然ガス(LNG)トレーラーの使用を開始し、国内で初めてLNGトレーラーを使用したコンテナターミナルだ。クリーンエネルギーを使用するLNGトレーラーは、ディーゼルトレーラーと比較すると排気ガス排出量を約82%削減することができる。LNGトレーラーを使用することで、港湾地域および港湾地域の大気質を大幅に向上させた。現在は計340台のLNGトレーラーが24時間稼動している。



「YICT」は中国貿易の中心を担う重要な玄関口である。1993年11月の営業開始以来、中国・華南地域の経済を大幅に発展させてきた。今後も地域全体の経済および社会発展に大きく貢献していくことだろう。

ソース:

https://www.yict.com.cn/index.html

http://www.sznews.com/news/content/2019-06/19/content_22182770.htm

http://tech.southcn.com/cpyfw/content/2009-08/05/content_5491265.htm

日系企業とも協業しているスマート紙おむつメーカー

社名	深圳一代科技有限公司		英語名	Shenzhen eDiaper Technologe CO.,LTD	
代表者	黄新凱		URL	http://www.iyar.com.cn/Goods/show/pid/2/cid/29/sid/11.html ※OEM を請け負っている会社の HP	
所在地	深圳市南山区南山街道東濱路濠盛商務中心 7 楼 704A				
売上 (USD)	NA	従業員（人）	10-50	創業年	2016.01.08
資本金 (USD)	206 万 (約 3,255 万円)				
サービス内容	スマート紙おむつの開発、生産、OEM を行なっている				

センサー、IoTデバイスのメーカーであり、ソリューションも提供している会社。

現在の主力製品はIoT紙おむつ。尿量、睡眠体勢、体温異常を検知した場合は、アプリとランプにアラートを飛ばす。 幼児だけでなく高齢者も応用することができ、日本の大手企業とすでに協業を行なっている。

外付けセンサーは3ヶ月以上連続使用可能で、Android　4.4以上・iOS　8.0以上のシステムに対応している。 外付けセンサーには、電力消費と大きさが世界最小のブルートゥースチップを搭載しており、ブルートゥースチップ経由でアプリとランプに接続している。

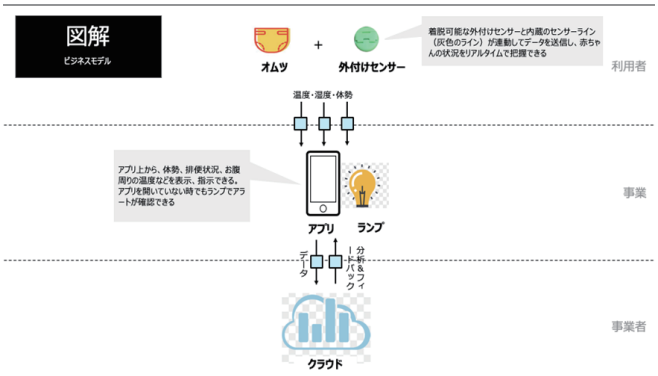
オツムにはグレーのラインがあり、これを外付けセンサーに入るように装着。外付けセンサーはそれ自体に温度と体勢を感知する。

体勢管理:三軸精密ジャイロスコープが赤ちゃんの体勢をウォッチ。うつ伏せで窒息の可能性がある場合やベッドから転落した場合など、アプリとランプにすぐにアラートが飛ぶ。

湿度管理:排便状況をリアルタイムで管理することができ、カブレを防ぐことができる。

温度管理:極小NTC温度センサーは、お腹周りの温度変化を正確に追跡し、冷えていれば布団をかけてあげる等ケアができる。

eDiaper：スマートオムツの仕組み




▲スマートおむつ


▲外付けセンサー


▲ランプ

■業界ポジション:
中国スマートオムツの新星、世界一流のブランドにも負けない品質、技術と流通網を保有

2017年中国深センイノベーションコンテストにて多数の賞を受賞した実力者。

驚くのは、通常のオムツとスマートオムツの製造コストがわずか0.01USDしか変わらないという点。

ブランドは米国、中国（台湾、香港を含む）の認可/授権を受けており、日本、韓国、ヨーロッパの市場にも参入。 IBM、PHILIPS、日本でも某大手企業などと提携。

ヨーロッパで第2位のAbena社、世界最大の大人用おむつSCA社のTENA、と比較すると、同社は価格・販売網・ユーザビリティの面で優位性を持っている。

社　名	Abena	SCA/Essity	一代科技
商品名	Abena Nova™	TENA Identifi™	eDiaper®
低コスト	X	X	√
毎日利用可能	√	X	√
データ分析	X	√	√
カスタマイズ	X	X	√
通常のオムツ工場での製造可否	X	X	√
IP授権	X	?	√
独立したブランド	X	X	√
排便状況管理	段階式	段階式	数値
商品イメージ			


▲アプリ



▲尿量テストの様子

コンサルタントEYE

「グループチャットを利用した個人規模のサイドビジネスモデル」

唯来企業管理咨詢（深圳）有限公司
副総経理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。現在はクロスボーダーM＆Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M＆Aサービス担当。



中国IT大手のTencentのメッセンジャーアプリ「WeChat（微信）」の2018年利用レポートによるとWeChatの月間アクティブユーザー（MAU）は10.82億人に達している。
（ちなみにLINEの2019年第一四半期のMAUは8,000万人。）

WeChatもLINEも単なるメッセンジャーアプリの枠を超え、幅広いビジネス領域に進出しているが、今回は、WeChatの「グループチャットを利用した個人規模のサイドビジネスモデル」に注目してみた。

まず、グループの設定であるが、完全に知らない赤の他人をグループに入れるのではなく、「特定エリアのオフィスに入居している企業に勤めている人々」をターゲットにしている。

例えば、MICSがある深圳湾ソフトウェアパークには18棟の建物があるが、WeChatで商売をしたい花屋は、オーダーは全部グループチャットで取った上で、この18棟だけにお花を配達しているのである。

実際にグループチャットのスクリーンショットでみていただけるだろうか。



①月亮花园
花屋の名前「月ガーデン」
②軟件産業基地
エリアの名前「ソフトウェアパーク」
③3
建物の名前「園区で３番目のグループ」
④(289)
グループチャットに入っている人数「289 名」

各ビルを回りながら販売、先に購入した客はグループチャット内でリアルタイムでお花の鮮度についてコメントを出す。



さて、この花屋のビジネスモデルを分析してみると以下のとおり。

◆深セン南山区ソフトウェアパークだけで、少なくとも1290名のユーザー（顧客候補）を確保している。（1グループは500人以内との制限があるので、3グループ目の290名＋1と2の各500名で合計1290名という計算）

◆朝一番で当日の花とその値段をグループ内で公開して、予約を取ることができるので、補充・在庫管理がやりやすい。（花は生ものですし）

◆グループチャットで鮮度等の情報がリアルタイムにあがってくるので、購入者達も判断しやすいし、安心感を高められる。（いわゆる、口コミ）

◆花だけではなく、花以外のもの（たとえば、果物）を販売し、売上を伸ばすことができる。

◆最近は生け花教室も予約受付している。

IT会社、ベンチャー企業、投資会社等が立ち並ぶ園区内で、電動自転車で花を配達するだけで充分な商売ができる、というのも、深センらしさではないだろうか。

（レポートは 2019 年 8 月 8 日現在の情報）



MICS
深圳未来创新服务中心
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区軟件産業基地5E棟522号　518061
TEL:86-135-3089-3085
https://micsz.jp/